

「木になるフェスティバル」開催記

企業支援部 技術支援グループ 奥山卓也

第 21 回木のグランドフェア「木になるフェスティバル」(主催：地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場，一般社団法人北海道林産技術普及協会)を，7月28日(土)に開催しました。

当日は時折，雨が降る不安定な天気にもかかわらず，およそ800名の来場者でにぎわいました。

会場の林産試験場(旭川市西神楽1線10号)構内には開会前から訪れる人が後を絶たず，開会式への参加者を対象とした「林産試スタンプラリー」の台紙を，約80人に配布することができました。

主催者あいさつの後に行われたオープニングログカットには，小学生の女の子にも参加してもらいました。



開会式での主催者あいさつ



主催者・来賓・来場者によるログカット

開会式終了後，各催事がスタートし，来場者は思い思いの催事を楽しんでいました。

今年は恒例の林産試験場ならではの木に関する各種科学体験や，毎年人気の工作体験の中に新しいメニューがいくつか取り入れられ，職員が趣向を凝らした全14催事で来場者を迎えました。



新メニューのひとつ「不思議なペーパーウエイトづくり」



同じく新メニュー「木のブロックを接着」

もちろん新しいメニューばかりではなく，定番の工作体験や，試験場構内を使ってクイズを解いていく「ウォークラリー」なども子どもたちに大人気。そのほか，「せみ笛をつくろう」「製材の実演」や，「バイオマス燃料を知ろう」など，盛りだくさんの各種催事は，子どもたちにも大変好評で，来場者アンケートか



こちら新メニュー「接着剤の使い方」

「子どもが大変喜んでいました。」「小学 1 年のこどもでも楽しくつくれました。」などの声が聞かれました。



せみ笛をつくろう



バイオマス燃料を知ろう

林産試験場を知ってもらう催事の中には、場内のいろいろな場所で、林産試験場がどのようなところなのか説明を聞きながらめぐる「りんさんし☆探検隊」もあり、例年どおり希望者を募って行われました。

お昼には旭川在住のシンガーソングライター、八幡映美さんのミニコンサートが開催され、イベントに華を添えていただきました。



「りんさんし☆探検隊」での工場見学（製材の実演）



八幡映美さんのミニコンサート

また、毎年出展協力をいただいている上川総合振興局では、今年は「暮らしに木遣い」と題した表札やカーテンタッセルづくりを行い大変好評でした。

（その他の催事もちょっとのぞいてみましょう。）

「この木なんの木」では、実際に触ったり、顕微鏡で観察しながら、木にはいろいろな種類があることを確かめてもらいました。

「タッチウッドをつくろう」では、ヨーロッパ伝統の魔除け札（タッチウッド）づくりを行いました。



上川総合振興局「暮らしに木遣い」



中学生木工工作体験



この木なんの木

「木材を腐りにくくするための工夫」では、住宅の土台などを腐りにくくするための防腐処理について知ってもらい、防腐剤を木材の中まで入れるためのインサイジング処理の実演をしました。



木材を腐りにくくするための工夫



タッチウッドをつくろう

以上、今年の「木になるフェスティバル」について紹介しましたが、今年で 21 回目を迎えたこのイベントは、旭川市内での夏のイベントのひとつとして、すっかり地域に定着したのではないかと考えております。

これからも「木の良さ」を皆さんにより知っていただくため、林産試験場と皆さんを結ぶ大切なイベントとして続けていく予定です。

リピーターの方はもちろん、まだ「木になるフェスティバル」に来たことのない方々も、来年は是非気軽に遊びにきてください。お待ちしております。